



2022 年度 第 2 回子育て講座

教育の現状と子どもの村という陣地



教育現場は日々めまぐるしく変化しています。また、インターネットなどで見る情報に支配される子どもや若者がたくさんいます。では、それらは一体どうしてそうなったのでしょうか。今回は、そんな現代社会に存在する「子どもの村」の位置づけについて、哲学者アントニオ・グラムシの「陣地」というキーワードを紹介しつつ、関西学院大学教授の桜井智恵子さんがお話しします。

さくらい ち え こ
講師：桜井 智恵子さん

関西学院大学 人間福祉学部教授。教育学、思想史。フィリピン大学などを経て、大阪市立大学大学院・堀真一郎ゼミで学ぶ。川西市子どもの人権オンズパーソン、大津の子どもをいじめから守る委員などを経験。著書に『教育は社会をどう変えたのか—個人化をもたらすリベラリズムの暴力』（明石書店）、『子どもの声を社会へ—子どもオンズの挑戦』（岩波新書）など。

場所：北九州子どもの村小学校・中学校 ホール

日時：2023年 1 月 22 日（日） 13:30-15:30

定員： **50** 名

参加費無料

申し込み締め切り

1/12（木）

※コロナウィルス感染の状況などによって、日にちの変更やキャンセルになる場合があります。その場合は、こちらからご連絡させていただきます。ご了承ください。

裏面申込書に必要事項をご記入のうえ、メール、FAX、郵送にてお申込みください。

〒803-0180 北九州市小倉南区平尾台 2-5-24

TEL:093-452-2602 / FAX:093-452-2652

E-mail: kitakyushu@kinokuni.ac.jp



子どもの村ってどんな学校？

体験学習・自己尊重・自己決定

授業の半分が木工、栽培、料理、演劇などの体験学習、クラスに学年の壁がない、学校のルールや行事は全校集会で決める、宿題もテストもない、イギリスで活動する…など、これまでの学校教育とは異なった方針をもつ新しい学校です。1992年に和歌山県で「きのくに子どもの村小学校」が誕生。福井県、福岡県北九州市、山梨県、長崎県にも相次いで開校し、現在は小・中・高等専修学校合わせて11校で600人以上の子どもが楽しく学んでいます。

同日、おもちゃづくり教室開催中！

「すてきなたからばこ」

別途、お申込みください。

主催：学校法人きのくに子どもの村学園 北九州子どもの村小学校・中学校 / 後援：北九州市教育委員会

ミキハウスは「きのくに子どもの村学園 北九州子どもの村小中学校」をサポートします。

mikiHOUSE